高齢者の豊かな生活のために　　２０２０年１２月１日発行

手 賀 沼 通 信（第２７３号）

Ｅメール：nittay@jcom.home.ne.jp　http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/　新田良昭
http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai　http://tegatu2.web.fc2.com

今年は新型コロナウィルスに翻弄された年となりました。今ますます拡大しています。手賀沼通信ブログで取り上げたコロナ関係のブログを記述順に収めてみました。もっと頻繁に書いていますが、かなり省いています。また途中でページが尽きたので、半分も収容できませんでした。続きはそのうち続編で紹介したいと思います。

手賀沼通信ブログ抜粋－コロナ特集その１

新型コロナウィルス肺炎と中国の食習慣は関係あるか（ＮＯ．１３１５）（令和２年２月１２日）

２０２０年２月１１日午前０時現在、中国の新型コロナウィルス肺炎の死者はついに１０００人を超え、１０１６人、感染者は４万２６３８人となりました。中国を除く世界中では、２７か国、３４１人感染、死者２人となっています。いまだ収束する兆しはありません。

横浜に係留されているクルーズ船の乗客乗員は閉じ込められたまま、どこの国からも入港を拒否されているクルーズ船もあります。オリンピックは無事に開かれるのでしょうか。不安でなりません。

この感染症は中国での蔓延が突出していますが、中国で経験したことが蔓延した原因の一つではないかと思っています。

それは中国料理をテーブルで食べた時に感じたことです。テーブルで大皿に盛った料理を食べるとき、多くのレストランで取り箸がないのです。私たちは取り箸を持ってきてもらいました。現地ではそれぞれが自分の箸で大皿の料理をいただくそうです。

もっとも私の経験は、１９９９年、２００２年、２０１１年のたった３回で、しかも大分前の経験ですから、いつでもそうなのか、今ではそんなことはなくなったのかわかりません。もし間違っていたらごめんなさいです。もし私の経験が今も普通だったとしたら、箸が感染の一つに原因になったかもしれません。

また１９９９年に西安に行った際、屋台で食事をしたとき、足元に捨てられた食べかすが散らかっていました。２０年以上も前のことですから、今はそんなことはないかもしれません。

今日の読売新聞に、「新型肺炎感染阻止へ強硬策、北京　集団会食　禁止」と出ていました。中国で、そして世界で早くこの病気が収まるよう祈っています。

新型コロナウィルス肺炎が楽しみを奪った（ＮＯ．１３２０）（令和２年３月２日）

令和２年３月１日日本相撲協会が３月場所を無観客試合とすることに決めました。大相撲では初めてです。

これは新型コロナウィルス肺炎の感染の広がりを受けてのことです。コロナウィルスは私達の健康や生活や経済活動などに大変な影響を与えていますが、私達の楽しみも奪っています。

国内の各地での楽しみに与えた影響を調べてみました。全部は調べきれないのでその一部です。

<u>無観客試合</u>
・大相撲
・プロ野球オープン戦
・プロゴルフ
・バレーボールＶリーグ
・テニスデビスカップ
・競馬
・競艇

<u>延期</u>
・サッカーＪリーグ
・ラグビートップリーグ
・バスケＢリーグ
・プロボクシング

<u>市民ランナー不参加</u>

・東京マラソン
・名古屋女子マラソン
休園／休演／閉鎖
・上野動物園
・ディズニーランド／ディズニーシー
・ＵＳＪ
・富士急ハイランド
・アドベンチャーワールド
・各地の動物園／テーマパークなど
・歌舞伎
・劇団四季
・ジャニーズ事務所
・各地のイベントなど
・各地の博物館
・各地の美術館など

プロ野球の公式戦や高校野球選抜大会は、まだどうするか決まっていません。

そのあと最大のイベントのオリンピックがあります。これだけは開催する必要があります。

早くコロナウィルスが収まってほしいと祈っています。

新型コロナウィルス肺炎より何万倍も怖かったスペイン風邪（ＮＯ．１３２１）（令和２年３月４日）

令和２年３月４日日本国内の新型コロナウィルスの感染者がクルーズ船での感染者を含めて１０００人を超えました。死者は１２人となりました。

３月４日の読売新聞によると、発生源の中国では感染者が８万１５１人、死亡が２９４３人、２番目に多い韓国では感染者が５１８６人、死者が３１人となっています。世界の３０か国に感染者が出ています。どこまで広がっていくのでしょうか。

昔世界を恐怖のどん底に落としたのがスペイン風邪でした。私がスペイン風邪を知ったのは、劇作家だった島村抱月がスペイン風邪で亡くなったため、愛人だった松井須磨子が後追い自殺をしたと聞いたからです。松井須磨子は学生時代に好きだった「カチューシャの唄」を唄った女優でした。

そこでスペイン風邪について Wikipedia で調べてみました。

「スペイン風邪は今から約１００年前の１９１８年から１９１９年にかけ世界的に大流行したインフルエンザの通称です。感染者５億人、死者５０００万～１億人と、爆発的に流行しました。流行源はアメリカ合衆国ですが、感染情報の初出がスペインであったため、この名で呼ばれました。

スペインかぜは、記録にある限り人類が遭遇した最初のインフルエンザの大流行（パンデミック）です。当時の世界人口は１８～２０億人であると推定されているため、全人類の３割近くがスペインかぜに感染したことになります。感染者が最も多かった高齢者では基本的にほとんどが生き残った一方で、青年層では大量の死者が出ています。

日本では、当時の人口５５００万人に対し３９万人が死亡し、アメリカでも５０万人が死亡しました。これらの数値は感染症のみならず戦争や災害などすべての人間の死因の中でも、最も多くの人を短期間で死亡に至らしめた記録的なものです。

流行の経緯としては、第１波は１９１８年３月にアメリカのデトロイトやサウスカロライナ州付近などで最初の流行があり、アメリカ軍のヨーロッパ進軍と共に太平洋を渡り、５～６月にヨーロッパで流行しました。

第２波は１９１８年秋にほぼ世界中で同時に起こり、病原性がさらに強まり重篤な合併症を起こし死者が急増しました。

第３波は１９１９年春から秋にかけて、第２波と同じく世界で流行しました。さらに、最初に医師・看護婦の感染者が多く医療体制が崩壊してしまったため、感染被害が拡大しました。

スペインかぜの病原体は１９９７年になってようやく正体が明らかとなりました。鳥インフルエンザウイルスに由来するものであった可能性が高いことが証明されました。」

新形コロナウィルスの正体は何なのでしょうか。

今年の３月１１日も無事ではなかった（ＮＯ．１３２３）（令和２年３月１２日）

３月１１日は東日本大震災の記念日です。あれから９年たちました。

今年やっと常磐線が全面復旧しました。各地で復興が進んでいます。また行方不明になっていた人がやっと見つかったというニュースもありました。

でも今年の３月１１日は新型コロナウィルス肺炎で世界中がかき回されています。１１日にWH

Ｏのデドロス事務局長が、やっと今の新型コロナウィルス肺炎の広がりはパンデミックといえると宣言しました。ちょっと遅かった感じです。トランプ大統領も大きな動きを見せています。

無観客試合で開催すると言っていたセンバツ高校野球も１１日に日本高校野球連盟が大会を中止すると発表しました。センバツ高校野球は１９４２年～１９４６年に太平洋戦争で中止になりましたが、それ以外では初の中止です。夏の大会は戦争で中止になった以外に１９１８年に米騒動で中止になりましたが、センバツは戦争以外で中止になったことはありませんでした。プロ野球とサッカーＪリーグはすでに延期となっています。

アジアだけでなく、ヨーロッパやアメリカにも感染が拡大しています。おそらくオリンピックとパラリンピックも開催が延期になるのではないでしょうか。インフルエンザのように暖かくなると感染が収まるというものではないようです。

東京オリンピック１年延期への提言（ＮＯ．１３２８）（令和２年３月２５日）

２０２０年3月２４日東京オリンピック・パラリンピックが１年延期となりました。

安倍首相がＩＯＣのバッハ会長と電話で会談し、新型コロナウィルスの感染拡大のため、東京オリンピック・パラリンピックを１年程度延期するよう提案し、バッハ会長がこれを受けて「１００％同意する」と回答し合意に達しました。中止は避けられました。

それに伴い３月２６日に福島県から始まる予定だったオリンピックの聖火リレーも延期されることになりました。

良い決断だったと思います。延期するなら１年と思っていました。

ただ今後解決しなければならない問題は山積しています。

読売新聞では「延期に伴う主な課題」として、会場、組織委、選手村、ボランティア、チケット、宿、警備、バス、があがっていました。

わたしはこれに加えて、「スケジュール」「選手選考」「チケット購入者」を考えました。

まず「スケジュール」ですが、オリンピックの日程は２０２０年7月２４日(金)～８月９日(日)を２０２１年7月２３（金）～8月８日（日）と１日ずらせばいいと思います。曜日を合わせるためです。パラリンピックも８月２４日～９月５日と１日早めます。

「選手選考」は原則は来年もう一度やり直すべきです。ただしマラソンのようにすでに選考が決まっている競技は、オリンピック選手として選ばれた選手に何らかのボーナスポイントを付けたうえで選び直すといいと思います。

「チケット購入者」の買ったチケットは原則来年もスケジュールに合わせて有効とします。ただし払い戻し希望者には払い戻し期間を決めて払い戻せばいいと思います。

会場は来年の予約が入っていてもオリンピック優先で確保すればいいのではないでしょうか。

いろいろな問題はすべてオリンピック優先で１つ１つ丁寧に解決するしかないと思います。

ついに緊急事態宣言が発令された（ＮＯ．１３３１）（令和２年４月８日）

令和２年４月７日安倍首相は、新型コロナウィルスの感染者が急増したため、医療崩壊を防ぐため、東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、兵庫、福岡の７都府県に緊急事態宣言を発令しました。

宣言の期間は４月７日から５月６日までの１か月間で、宣言が必要なくなったときは解除されます。

宣言の骨子は要請と支援で、海外のように都市封鎖とか外出禁止ではなく、罰則規定もありません。要請は、外出の自粛、休業、休校、イベントの中止などで、密閉、密集、密接の３密を避け、感染の拡大を防止することが目的です。

外出も、通院、食料や生活物資の買い物、健康維持の散歩、職場への通勤などは自粛の対象ではありません。スーパー、薬局、病院、コンビニ、ドラッグストアなどは休業の対象ではありません。したがって買い占めの必要はありません。職場ではできればテレワークや在宅勤務が要請されています。学校や塾などではできるところはオンラインが望ましいとされています。

我孫子市の小中学校では４月６日にいったん３学期を始めましたが、緊急事態宣言を受けて４月いっぱい休みにしました。

私の感じでは緊急事態宣言は、国民に危機感を感じさせ、自覚を促し、感染防止の行動を起こさ

せる意味があるのではないかと思います。宣言は７都府県ですが、ほかの道県も宣言の意味を深く考える必要があると思います。

一方支援策は収入が減った低所得世帯などに３０万円の現金を給付するとか、中小企業や個人事業主には最大２００万円の現金給付が考えられています。

医療の支援では軽症者のためにホテルを借り上げています。また緊急事態宣言ではありませんが、マスクや人工呼吸器などの医療物資の増産を業界に要請しています。

とにかく今は国民が一体となってこの前代未聞の危機を乗り切る必要があると思います。

私の外出自粛（ＮＯ．１３３２）（令和２年４月９日）

一昨日（４月７日）千葉県にも緊急事態宣言が出されました。脊椎間狭窄症による足の痛みのため、もともと外出は少なくなっていましたが、さらに自粛することになりました。

私の毎日は読書とテレビとパソコンと散歩からなっています。

読書はコロナで図書館が締まっているため、書棚にある司馬遼太郎の小説を読み返しています。「竜馬が行く」「坂の上の雲」を読み終わり、今は「国盗り物語」を読んでいます。終活の１つです。

テレビは、ニュースとスポーツ中継以外は、見たい番組を録画して好きな時間に見るのが私のスタイルですが、今はスポーツ中継がコロナのため放送されていないため、録画を見る毎日になっています。映画やドキュメンタリー、山登りや旅行などの番組が多く、ＮＨＫのＢＳプレミアムの番組が多くなっています。バラエティ番組は見ません。

パソコンは毎日メールとインターネットとフェースブックを眺め、月に１回手賀沼通信の作成と送信とホームページへのアップロード、月７～１０回の手賀沼通信ブログの書き込みです。スマホはＬＩＮＥとニュースと辞書替わりですが、使用頻度は高くありません。

外出は週１回のスーパーカスミでの買い物、予約した病院通いです。散歩は今は人との密集の少ない手賀沼公園と手賀沼遊歩道に限っています。以前は散歩の途中でいろいろ人の集まるところに立ち寄っていたのですが、今は自粛しています。我孫子第一小学校の下校見守りも、学校が休みになったので出かける必要がなくなりました。電車は今年１回乗っただけです。

早くコロナの嵐が通り過ぎることを祈っています

緊急事態宣言後の慈恵医大柏病院（ＮＯ．１３３３）（令和２年４月１１日）

令和２年４月９日慈恵医大柏病院に行ってきました。７日夜に緊急事態宣言が千葉県にも発令された直後です。

慈恵医大病院は喉頭白板症でがんセンターから手術のため回されました。７日は４回目の通院でしたが、緊急事態宣言のためそれまでと変わっていました。

病院の入口に２人のスタッフが立って、入ってくる人の体温を測定し手の消毒を促していました。お見舞い禁止の札が掲げられていました。私の担当医は防護服を着て診察しました。いずれもそれまでの３回にはなかったことです。

今回は手術についての打ち合わせの予定でしたが、急を要しない手術は全面禁止となって打ち合わせはできず、１か月後に来るよう指示されました。手術の日程はコロナウィルス次第でいつになるかわからないと言われました。

４月１１日の読売新聞に大学病院についての記事が出ていました。大学病院は一般の治療と合わせて、高度医療や先端医療による治療、各種の研究、医療スタッフの教育などが使命となっており、コロナウィルスの患者は受け入れないことになっているようです。

しかし、東京都は指定の感染病病院だけでは患者を受け入れられなくなっており、東京医科歯科大学病院や東京医大病院ではコロナの患者を受け入れ始めているようです。

今は大学病院は、入院は緊急性がある患者や予約していた患者以外は受け付けられず、外来診療の初診や救急診療は基本的に中止となっているとのことです。

今後は医療現場の崩壊を防ぐためには、状況次第でほかの大学病院の病床もコロナ患者を受け付ける必要が出てくるかもしれません。私の手術が延期になったのも仕方ないことと理解しました。